

平成 25 年度  
多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業

実施報告書

平成 26 年 3 月

## ■ 目 次 ■

I 事業概要	1
II 実施事業一覧	2
III 実施事業内容	3

### 資料編

資料1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱	33
資料2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱	36
資料3 市町村共同事業助成金審査会委員名簿	38



## I 事業概要

### 1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業について

本事業は、市町村が実施するスポーツの振興に資する事業を支援することにより、多摩・島しょ地域の子どもの体力・運動能力の向上や住民の健康の増進及びスポーツ人口の拡大を図り、ひいては多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的に、次の事業に対し助成金を交付する事業である。

助成期間は平成 24 年度から平成 26 年度までの間とする。

なお、本事業は、東京都市長会の政策提言「多摩のスポーツ振興をめざして（平成 23 年 2 月）」を受け、平成 24 年度より助成事業として制度化したものである。

助成対象事業	<p>助成対象事業は、次の事業種別のどれかに該当し、助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会会長が必要と認める事業とする。</p> <p>【事業種別】</p> <p>①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業</p> <p>②子どもの競技力の向上に資する事業</p> <p>③スポーツを通じた地域活性化等に資する事業</p>
助成額	一市町村につき年間 200 万円以内

### 2 市町村共同事業助成金審査会

本助成金の交付にあたっては、市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、その可否を決定することとなっており、次のとおり実施した。

- (1) 実施日時 平成 25 年 4 月 12 日（金）午後 1 時 30 分～午後 4 時
- (2) 申請・審査件数 市町村数 24 件、事業数 32 件
- (3) 審査結果 適正事業数 32 件、不適正事業数 0 件

### 3 実施市町村数及び実施事業数

市町村数 24 件、事業数 32 件

事業区分	新規
①継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業	8 件
②子どもの競技力の向上に資する事業	6 件
③スポーツを通じた地域活性化等に資する事業	18 件
実施事業合計	32 件

## Ⅱ 実施事業一覧

市町村名	事業名	掲載 頁
八王子市	トップアスリートの技を学ぼう	3
立川市	地域スポーツクラブジュニア育成事業補助金	4
青梅市	子どもわくわく体カアップ推進事業	5
	スポーツ講演会	5
府中市	たくましい府中っ子コンテスト事業	6
	府中市こども体カチャレンジ	6
昭島市	市民綱引き大会	7
	スポーツチャレンジフェスティバル	7
	子どもスポーツカ向上事業	8
町田市	まちだ★こどもフェスタ 2013	9
小金井市	ジュニアバスケットボール教室	10
小平市	トップアスリート（チーム）によるバレーボール教室と講演会	11
日野市	ひのっ子体カアッププラン（走力向上）	12
国分寺市	体カ向上事業	13
国立市	わくわく体カ向上プラン	14
	スポーツ夢プラン	14
福生市	ジュニアスポーツ体験・育成事業	15
東大和市	東大和市ボウリング大会	16
清瀬市	小・中学生の競技力向上事業	17
東久留米市	子どもの体カ運動能力向上事業	18
稲城市	あるくマップウォーキング推進事業	19
羽村市	バレーボール体験	20
あきる野市	初心者水泳クリニックとトークショー	21
	初心者テニス教室と講演会	22
西東京市	子どもの競技力向上短期集中講座	23
日の出町	多摩・島しょスポーツ振興事業 サッカー講演会	24
檜原村	檜原村テニス教室	25
神津島村	ソフトバレーボール地域活性化事業	26
御蔵島村	御蔵島村民スポーツ教室	27
青ヶ島村	青ヶ島サッカー教室	28
	丸山ウォーキング	28
	体と心ほぐし&ヨガ教室	29

### Ⅲ 実施事業内容

#### 八王子市

##### トップアスリートの技を学ぼう

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 11 月 16 日

事業概要 スポーツを通じた地域活性化を図るため、プロスポーツ選手を招き、集客力の高いスポーツイベントを開催した。また、26 年 10 月に供用開始予定であるスポーツ振興事業の新拠点となる総合体育館のPRも併せて行った。

##### 【内容】

日本を代表するスポーツ選手（サッカー選手：森島寛晃氏、川上直子氏 陸上選手：田端健児氏、高橋千恵美氏）を講師として招き、実技指導、質疑応答、記念撮影などを行った。

##### 【実施場所】

八王子市民体育館、富士森公園陸上競技場

##### 【参加人数】

518 名



立川市

地域スポーツクラブジュニア育成事業補助金

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成25年5月1日～平成26年2月28日

事業概要 立川市では、平成23年度市内12地区に地域スポーツクラブを創設し、子どもの競技力向上に資する事業を行った地域スポーツクラブに対し、1団体50,000円を限度とする補助事業を実施した。

・補助団体数 12団体

平成25年度地域スポーツクラブジュニア育成事業補助金実績

	交付団体名	金額(円)	事業名	事業内容	実施期間	延べ参加人数(人)
1	立川市富士見町体育会	50,000	小学生野球教室	大会出場を目指し、専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	9/1～12/10	280
2	立川市柴崎町体育会	50,000	柴崎町陸上同好会	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	7/4～11/14	640
3	立川市錦町体育会	50,000	小中学生ミニテニス教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/23～11/30	31
4	立川市曙町体育会	50,000	ドッチボール	ドッチボールのコーチによる競技力向上の講習と試合形式による実践教室を実施	2/23	45
5	立川市高松町体育会	50,000	小学生ミニバスケットボール教室	専門の指導員により、競技力向上のための理論と実践講習を実施	9/1～12/21	320
6	立川市羽衣町体育会	50,000	小中学生バレーボール教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	10/20～11/24	275
7	立川市砂川体育会	50,000	小中高生バレーボール教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	10/17～12/12	408
8	立川市栄町体育会	50,000	小学生バドミントン教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	5/1～1/31	500
9	立川市若葉町体育会	50,000	小中学生剣道教室	専門の指導員により、剣道を基礎から学び、大会に出場できるよう導く講習を実施	9/7～10/26	232
10	立川市西砂川地区体育会	50,000	小学生バレーボール教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	8/1～12/15	102
11	立川市幸町体育会	50,000	市民大会水泳練習会	水泳競技の大会への参加に向けて、専門の指導員による技術向上のための講習を実施	6/22～8/31	551
12	立川市柏町体育会	50,000	小中学生陸上教室	専門の指導員による競技力向上のための講習を実施	11/30	42
	支出合計	600,000			合計人数	3,426

## 青梅市

### 子どもわくわく体カアップ推進事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力の向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 6 月～平成 25 年 11 月まで

事業概要 市内全 16 校のうち 8 校に実業団陸上部（コニカミノルタ）、ランニングアドバイザー等の講師を派遣し、小学 5 年生を対象に走り方講習会を開催した。

#### 【内容】

事業実施前から体育の授業で走ることに重点を置くとともに、講習会でランニングのコツを競技者等から実践的に教わることで、運動能力向上と走ることが好きになるきっかけづくりとなった。講習会の内容は実施後の体育の授業にも生かされ、練習方法やランニングのコツは児童と教員によって継承されている。

#### 【参加人数】

624 名（小学校 8 校 5 年生全児童）

## スポーツ講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 2 月 26 日

事業概要 将来の夢を実現するための動機づけになることや、困難に挑戦することの大切さ、挫折を乗り越えていく力を考えるきっかけとなることを期待して、為末 大氏（元プロ陸上選手）を招き「ハードルを超える～困難をプラスに変える発想法～」と題した講演会を開催した。

#### 【内容】

25 年間、トップアスリートとして、勝利と挫折を成長の糧にしてきた経験や、挑戦することのおもしろさ、そして夢の実現について、スポーツを通じてみんなが元気になるメッセージについて講演を行った。

#### 【実施場所】

青梅市民会館ホール

#### 【参加人数】

300 名





## 府中市

### たくましい府中っ子コンテスト事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

事業概要 府中市の児童が個人やグループで継続的に楽しく、意欲をもって取り組むことができる課題を設定し、その成果を認定証等で顕彰することを通して、体力向上を図ることを目的として事業を実施した。

#### 【内容】

本年度は、児童が意欲的に取り組むことができる長縄跳びとして、休み時間等に長縄8の字連続跳びに取り組み、ランキングの公表、上位グループの顕彰を通して、児童の体力向上に対する意欲を高めるとともに、通年での各学校における児童の体力向上につなげた。

### 府中市こども体力チャレンジ

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

事業概要 子供達の体力低下の問題点であるとされる「時間・空間・仲間」の減少を解決するために、競技・外遊び・家事活動・生活習慣などをそれぞれ視覚化し、その総得点で身体活動量を計測した。

#### 【内容】

- ①子どもの体力についてアンケート（2回）及び生活の記録（夏版・冬版）調査（アンケート：1,128枚 生活の記録：317枚回収）
- ②体力測定（握力、上体起こし、反復横とび、体前屈等）  
参加人数 61名（府中市生涯学習センター体育館）
- ③イベント「大大チャレンジ大会」（スポーツ・遊び・クイズ）  
参加人数 75名
- ④事業報告書の作成（2回のアンケート結果をまとめたもの）



## 昭島市

### 市民綱引き大会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 3 月 9 日

事業概要 市民（在勤・在学者含む）の体力及び健康増進への高揚を図るとともに、スポーツの振興、地域の交流・活性化を図るため、市民綱引大会を開催した。

#### 【内容】

- ①小学生の部（8人引き）②一般の部（8人引き）
- ③スポレクの部（6人引き）④女子の部（6人引き）

#### 【実施場所】

昭島市総合スポーツセンター

#### 【参加人数】

132 名

### スポーツチャレンジフェスティバル

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 5 月 19 日

事業概要 広く市民を対象に、色々な競技スポーツやニュースポーツを体験できるフェスティバルを開催して、スポーツに親しむきっかけづくりを行った。

#### 【実施場所・内容】

- ①昭島市立昭和公園内運動施設（市民球場・陸上競技場・テニスコート）  
ストラックアウト、輪投げ、グラウンド・ゴルフ、ターゲットバードゴルフ、遊具（ふわふわゆりーと、モンスターバスケット等）等
- ②昭島市総合スポーツセンター（体育室、屋内温水プール、弓道場等）  
バドミントン、バスケットボール、ビーチボール、卓球、屋内温水プール開放、トレーニングルーム開放、弓道体験、インドアペタンク等

#### 【参加人数】

1,842 名（在勤・在学者含む）



## 子どもスポーツ力向上事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 5 月 12 日～9 月 23 日

事業概要 昭島市体育協会に加盟する少年・少女を対象に対し、通常レベル以上のコーチを招聘、競技力向上に資する練習会等を開催する「子どもスポーツ力向上事業」を行った。

### 【内容・対象者】

#### ①軟式少年野球強化練習

社会人野球選手等をコーチに招へいし、野球教室等を実施。

対象：小学生 8 チーム 208 名、指導者 25 名

#### ②少年サッカー強化練習

高レベルチーム・選手・指導者の技術力を吸収し、技術向上を図る強化練習会を実施。

対象：小学生 8 チーム 347 名

#### ③ミニバスケットボール・クリニック及び強化練習

著名な指導者によるクリニックを開催するとともに、強化練習会を実施。

対象：小学生 64 名

#### ④ジュニアゴルフ教室

市内ゴルフコース（練習場）を会場とし、ジュニアゴルフ教室を実施。

対象：中学生 35 名

### 【実施場所】

昭島市内各施設



## 町田市

### まちだ★こどもフェスタ 2013

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 5 月 5 日

事業概要 町田市立総合体育館等を有効活用し、子どもたちがスポーツに触れ合う機会及び子どもたちの体力向上のきっかけとなるイベントを開催した。  
また、同年開催されるスポーツ祭東京 2013 の成功に向けての PR 及び 2020 年東京オリンピック招致に向けた啓発活動を行った。

#### 【内容】

##### ①エンターテイメントゾーン

- ・親子体操／ゆりーとダンスほか
- ・マッスルパフォーマンス
- ・ジャンプロープクリニック

##### ②チャレンジゾーン

- ・サスケチャレンジ
- ・オービットボールチャレンジ
- ・ボールプール

##### ③カルチャーゾーン

- ・フライング！ロケットまたはきらきら☆デコキャップ
- ・スーパージェット★ひこうきまたは手あみ♪クリーナー他

##### ④オープンゾーン

- ・飲食コーナー（ケータリング）
- ・エア遊具
- ・バルーンアーティスト
- ・ペスカドーラ町田応援コーナー

##### ⑤ジュニアテニスクリニック

#### 【実施場所】

町田市立総合体育館等

#### 【参加人数】

延べ 6,794 名（主に未就学児から小学生程度とその保護者等）



## 小金井市

### ジュニアバスケットボール教室

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 8 月 8 日、12 日、22 日

事業概要 市内中学校及び高等学校で部活動に取り組む生徒を対象にさらなる競技力の向上に繋がるようプロ選手による指導を行い次世代アスリートの育成を図ることを目的にバスケットボール教室（3回）を開催した。

#### 【内容】

プロバスケットボールチーム（東京サンレーヴス）の選手による指導により、次世代のアスリート育成を目的に実施した。

また、本年は東京都で第68回国民体育大会の開催予定があり、小金井市の実施競技は、バスケットボールであったため、本事業の開催時期を国民体育大会の開催直前に計画し、開催気運の盛り上げも併せて行った。

#### 【実施場所】

小金井市総合体育館大体育室

#### 【参加人数】

355 名（3日間延べ人数）



## 小平市

### トップアスリート（チーム）によるバレーボール教室と講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 6 月 1 日

事業概要 市内に所在するバレーボール強豪校である嘉悦大学と連携し、バレーボール教室及び講演会を開催し、地域の活性化を図った。

#### 【内容】

バレーボール教室を通じて、トップアスリートからの指導を受けることにより、競技力の向上だけでなく、スポーツの楽しさや魅力を伝えた。

また、ヨーコ・ゼッターランド嘉悦大学バレーボール監督の講演会では、自身の経験を交えた講演で中学生・高校生たちへエールを送った。

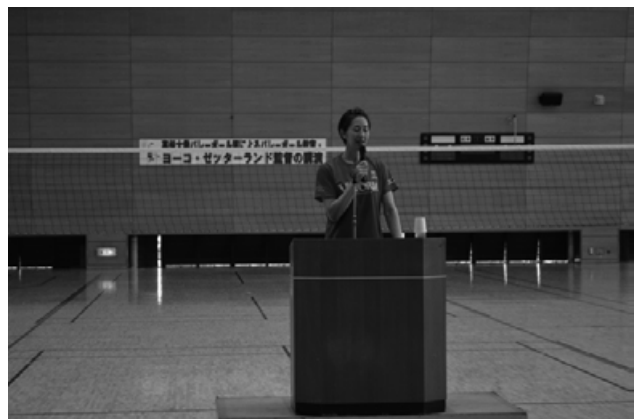
小平市は第 68 回国民体育大会バレーボール競技（成年女子）の会場であったことから、国内最大のスポーツの祭典であるスポーツ祭東京 2013 開催の気運醸成にもつなげることができ、オリンピックメダリストでもあるヨーコ・ゼッターランド監督を迎えたことで「2020 東京オリンピック開催の招致」の気運も高めた。

#### 【実施場所】

小平市民総合体育館

#### 【参加人数】

約 180 名（教室参加者、講演及び教室観覧者）



## 日野市

### ひのっ子体カアッププラン（走力向上）

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

事業概要 本事業は3カ年計画で実施し、走力 = 走るための「力」を身に付けることを目標に3カ年をホップ・ステップ・ジャンプさせながら、走力向上をゴールとした事業を行った。

#### 【内容】

2年目となる平成 25 年度は、昨年度購入した用具を使った運動について継続的な取り組みを行った。②体育の授業の充実を図るため、また、購入した用具を更に効果的に活用するため、日本トレーナー協会より講師を招き、教員に向けた研修会を実施した。③アスリート等を派遣し、児童生徒に「走る」ことの楽しさを感じさせる機会の充実を図ることを目的とした「本物体験」（元オリンピック出場選手等による陸上競技教室や講話、企業陸上競技部による走り方の指導等）を実施した。④小学校においては、昨年度に引き続き大縄跳びを共通の取り組みとし、チームワークを育みながら運動能力の向上を図った。成果発表の場として大会を開催した。

#### 【実施場所】

各小中学校



## 国分寺市

### 体力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 26 年 2 月～3 月

事業概要 市内小学校（全 10 校）の 1 年生、2 年生を対象に、放課後の体育館を活用し、「東京都統一体力テスト」において発表された結果を踏まえ、ゲーム感覚で楽しく身体を動かしながら、運動能力の発達・向上を図るため、運動プログラムを各校 3 回実施した。また、総括として、中野大輔氏（体操金メダリスト）による実技指導を行い、積極的に体力・運動能力の向上を行っていく意識を啓発した。

#### 【内容】

- ①元気☆アップトレーニング（運動プログラム 各校 3 回実施）  
1 回目：体幹トレーニング（初回測定）、フープ（輪投げ・カラーチェンジ）  
2 回目：体幹トレーニング、ボール（手叩きキャッチ・パス&キャッチ等）  
3 回目：体幹トレーニング（最終測定）、スティック（手叩きキャッチ・フープ）
- ②中野大輔氏（アテネ五輪体操団体金メダル）による体操教室（実技指導）  
模範演技、体幹トレーニング、側転指導&体験ブースによる実技指導を行った。

#### 【実施場所】

- ①各小学校（全 10 校）
- ②国分寺市市民スポーツセンター

#### 【参加人数】

- ①延べ 474 名（全 10 校）
- ② 96 名





## 国立市

### わくわく体力向上プラン

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月

事業概要 東京都統一体力テストで特に数値の低かった種目に関連する「筋力」、「柔軟性」、「瞬発力」及び「持久力」を高めるため、専門用具を使用したプログラムを実施した。

#### 【内容】

学級単位や学級・学年の枠を越えた縦割り班でプログラムを行ったりするなど各校の実態に応じた方法で実施した。学級単位で行う場合は、教師が主体となり指導し、縦割り班で行う場合は、高学年が中心になって行うことを基本とした。また、中学校においては、学校行事や昼休みに活用する頻度が高い「集団用とびなわ」を使用し、体力・運動能力向上に努めた。

### スポーツ夢プラン

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 10 月 12 日

事業概要 教員や部活動外部指導員及び地域のスポーツ指導者が魅力ある指導法を理解することで国立市における児童・生徒の体力向上につなげるとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質を高めることを目的に有森裕子氏（元オリンピックマラソンメダリスト）による講演会を実施した。

#### 【内容】

「恩師との出会い」、「スポーツの魅力」及び「スポーツの指導法」等すべて自らの経験に基づいた講演がなされ、指導法・体力向上に向けての具体的な取り組みを学ぶことができた。

#### 【実施場所】

くにたち市民芸術小ホール

#### 【参加人数】

156 名



## 福生市

### ジュニアスポーツ体験・育成事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 2 月

事業概要 基礎運動能力を遊びやレクリレーション・リズム運動(ヒップホップ等)・その他各種スポーツなどを通じて育成し、同時に運動やスポーツが好きになり、運動を日常化する子どもを育てることを目的とし事業を実施した。また、様々なスポーツを体験させることにより、子どもたちが多くの選択肢から将来運動する種目を選ぶことができる体験の提供を行った。

#### 【内容】

- ①キッズ体操（対象は年少児から 6 歳児）  
内容は、リズム体操、フープ・ボール・マット・トランポリン・大縄・跳び箱・バランスボール等を使用した運動。
- ②夏休み子ども体験塾（対象は小学 1 年生から中学生）  
活動内容は、リズム体操、身体・体力測定、ゲートボール、ドッジビー、カローリング等。
- ③チャレンジドスポーツ（対象は小学 1 年生～6 年生）  
活動内容は、ストレッチ体操、身体・体力測定、大縄、ビーチボール、ミニテニス、ドッジビー等。

#### 【実施場所】

市内体育施設(中央体育館を中心に屋外施設も利用し実施)

#### 【参加人数】

- ①延べ 1,300 名
- ②延べ 70 名
- ③延べ 200 名



## 東大和市

### 東大和市ボウリング大会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 8 月 4 日

事業概要 幅広い世代間及び地域の交流を目的に、スポーツといった競技性の側面とシクリエーションの側面があるボウリング競技を利用し、東大和市ボウリング大会（教室）を開催した。

#### 【内容】

小学校高学年（4年生）以上の市民を対象とし、世代別・地域別など対抗形式にグループ分けを行い、競技を実施した。また、ボウリングに親しんでもらうことや、その後の地域活性化のツールの一つとなるよう、プロボウラーによる講義や実技指導を通じ、世代間及び地域の交流を深めた。

#### 【実施場所】

東大和グランドボウル

#### 【参加人数】

73名



## 清瀬市

### 小・中学生の競技力向上事業

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 26 年 3 月 2 日

事業概要 子どもたちの基礎体力及び競技力の向上、また地域のスポーツ活動の推進を目的に、プレナスなでしこリーグに所属する「日テレ・ベレーザ」とチャレンジリーグ EAST に所属する「スフィーダ世田谷 FC」を講師として招いて、サッカー教室を実施した。

#### 【内容】

- ①「日テレ・ベレーザ」VS「スフィーダ世田谷 FC」親善試合
- ②なでしこリーガーによる清瀬市サッカー教室

#### 【実施場所】

清瀬市立下宿第三運動公園サッカー場

#### 【参加人数】

130 名



## 東久留米市

### 子どもの体力運動能力向上事業

事業種別 継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

事業概要 子どもの体力・運動能力を向上させるため、入門編、初級編等、継続型教室事業を行った。入門編としてからだの正しい使い方を学ぶことから始まり、球技体験を通じて競技に慣れ親しむといった平成 24 年度から行っている「子どもの体力・運動能力向上事業」を継続させた事業内容となっている。

#### 【内容】

第1回 TDSダンススクール

第2回 ジュニアアクアフィットネス教室

第3回 初心者バレーボール教室

第4回 ジュニアバレーボール教室

第5回 初心者バスケットボール教室

第6回 J r. バスケットボール教室

第7回 ジュニアティーボール教室入門編

第8回 ジュニアティーボール教室初級編

#### 【実施場所】

東久留米市スポーツセンター

#### 【参加人数】

1,096 名（第1回～第8回合計人数）



## 稲城市

### あるくマップウォーキング推進事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日

事業概要 スポーツを通じて地域を活性化するため、既存の市内ウォーキングコース 7 コースのリニューアルと隣接する川崎市多摩区との連携により、両市をまたぐウォーキングコースを作成し、ウォーキングイベントを開催した。

#### 【内容】

稲城市の大丸公園をスタートし、多摩区の薬師堂のゴールまで約 8.5 キロの距離をウォーキングした。

大丸公園⇒南多摩駅⇒大丸用水（大丸親水公園）⇒青渭神社⇒稲城市役所⇒穴沢天神社⇒小沢城址⇒川崎市農業支援センター⇒東京ヴェルディグラウンド⇒川崎市多摩スポーツセンター⇒薬師堂

#### 【参加人数】

99 名



## 羽村市

### バレーボール体験

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 6 月 16 日

事業概要 バレーボールのトップ選手のプレーの観戦。また、指導を通して、子ども達の競技力の向上を図るとともに、心身ともに健やかな子どもの成長に寄与していくことを目的としてバレーボール教室を実施した。

#### 【内容】

- ①バレーボール教室：NECレッドロケッツ（V・プレミアリーグ）・東海大学（関東バレーボール連盟女子1部）
- ②模範試合：NECレッドロケッツ対東海大学

#### 【実施場所】

羽村市スポーツセンター第1ホール及び第2ホール

#### 【参加人数】

バレーボール教室受講者：70名

模範試合観戦者：約531名



## あきる野市

### 初心者水泳クリニックとトークショー

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成25年8月11日

事業概要 オリジナル競泳メダリスト田中雅美氏による「トークショー」及び「初心者水泳クリニック」を行った。

#### 【内容】

##### ①トークショー

「オリンピックと私」と題して小学生の頃から水泳を行い、楽しみとしての水泳から競技としての水泳、そしてオリンピックを目指す水泳に変わり、技術面やメンタル面など本人のオリンピックに対する強い気持ちを講演した。

##### ②初心者水泳クリニック

プールを6コースに分け、参加者レベルに合わせてクロール、平泳ぎ及び背泳等の実技指導を行い、参加者に対する技術指導を行った。

#### 【実施場所】

五日市ファインプラザ（武道場、室内プール）

#### 【参加人数】

65名





## 初心者テニス教室と講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 11 月 4 日

事業概要 元プロテニスプレーヤー米村知子氏による「講演会」と「初心者テニス教室」を行なった。

### 【内容】

#### ①講演会

「プロテニスプレーヤーとしての今までとこれから・・・」と題して、プロテニスプレーヤーになるきっかけは、伊達公子選手の練習パートナーに選ばれた事であり、技術面や体調の管理方法などを参考にし、プロテニスプレーヤーとしての基礎が築きあがったことなどの経験を基として講演を行った。

#### ②初心者テニス教室

準備運動やサーキットトレーニングなど講師が見本を見せながら一緒に行い、参加者の技術に応じて、2面に分けて指導を行った。初心者の方には、ラケットの持ち方、スイングの仕方、ボールの打点の位置など丁寧に指導を行い、少し打てる方については、ラリー、ボレー、スマッシュ、サーブなどの指導を行った。参加者全員とラリーを行い、トップ選手との交流を深めた。

### 【実施場所】

①五日市ファインプラザ（第3研修室）

②山田グラウンド（テニスコート）

### 【参加人数】

77名



## 西東京市

### 子どもの競技力向上短期集中講座

事業種別 子どもの競技力の向上に資する事業

実施期間 平成 25 年 8 月 26 日～平成 25 年 8 月 30 日

事業概要 夏休み期間を利用してバスケットボール及びバドミントンのトップアスリートを招き、4日間の短期集中講座を開催し、子どもの競技力向上を図った。

#### 【内容】

##### ①バスケットボール

倉石 平氏（早稲田大学バスケットボール部総監督）、塚本清彦氏（明治大学バスケットボール部ヘッドコーチ）、藤田将弘氏（日本体育大学バスケットボール部ヘッドコーチ）、外山英明氏（エバラヴィッキーズヘッドコーチ）、知花武彦氏（明治大学バスケットボール部コーチ）を招き、短期集中講座を開催した。

##### ②バドミントン

小椋久美子氏（北京オリンピック バドミントン ダブルス入賞者）を招き、短期集中講座を開催した。

#### 【実施場所】

- ①西東京市総合体育館
- ②西東京市スポーツセンター

#### 【参加人数】

- ①189名（4日間延べ人数）
- ②153名（ // ）



## 日の出町

### 多摩・島しょスポーツ振興事業 サッカー講演会

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 6 月 1 日

事業概要 Jリーグ ベガルタ仙台 トップコーチ 渡邊晋氏によるサッカー講演会  
（『体話力』～つなげる力、つながる心）を開催した。

#### 【内容】

近年においては、テレビゲーム・携帯型のゲームが遊びの主流となり、マスコミ等でも少年少女の体力低下が取り上げられている。小・中学生時代は、心身ともに成長する非常に重要な時期であり、子どもたちがスポーツを体験する中で心身ともにたくましくなって手法等について講演を行った。

#### 【実施場所】

日の出町グリーンプラザ

#### 【参加人数】

100 名



## 檜原村

### 檜原村テニス教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 5 月 10 日

事業概要 子どもたちや地域住民の体力・運動能力の向上、健康増進、スポーツを始めるきっかけづくりや技術の向上を目指し、延いては地域の活性化及び魅力を高めることを目的とし、杉山 愛氏（元プロテニス選手）によるスポーツ教室を開催した。

#### 【内容】

村内小中学校の児童・生徒及び地域住民を広く対象とし、室内でのテニス教室及びトークショーを実施した。はじめて参加する子どもたちと経験者が、一同にテニスを通じスポーツを楽しむきっかけづくりと技術力の向上を図った。また、本事業の実施により、スポーツ人口の拡大、健康の増進を図ることができ、イベント終了後もミニテニス教室を数回開催することができた。

#### 【実施場所】

檜原小学校体育館

#### 【参加人数】

57 名（参加者）、40 名（観覧者）、22 名（指導員）



## 神津島村

### ソフトバレーボール地域活性化事業

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 1 月 18 日～19 日

事業概要 離島のため運動出来る施設、機会が少ない。村民のスポーツの普及・振興を図ることにより、村民の教育、健康、福祉に貢献する。また、スポーツを通じて地域の文化的・経済的な発展や活性化を目的とし、ミュンヘンオリンピック金メダリスト 森田淳悟氏、元全日本バレーボール女子監督 岩本洋氏及び元全日本代表選手、プロ選手等計 16 名を招聘しソフトバレーボール地域活性化事業を行った。

#### 【内容】

子供から大人まで楽しむ事ができるソフトバレーボールを普及させるため島外から特別講師を招聘し、幅広い年齢層の村民を対象にソフトバレーボール競技を体験してもらった。

#### 【実施場所】

神津島村開発総合センター及び神津高校体育館

#### 【参加人数】

2 日間 計 110 名（小学校 2 年生～60 歳）



## 御蔵島村

### 御蔵島村民スポーツ教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 26 年 1 月 11 日

事業概要 競技力の向上及び地域の活性化を図るため工藤公康氏（元プロ野球選手）さんを招き、野球教室を開催した。教室終了後、京谷和幸氏（元ロンドンパラリンピック車いすバスケットボール選手）を招き、講演会を開催した。

#### 【内容】

##### ①野球教室

「体の軸を使い、無駄な力を抜き、正しいフォームをつくる」ことをテーマに、基礎的な身体能力の一つである「投げる」ことについて、直接指導を行った。教室開催前から小・中学生に気さくに話しかけていただき、工藤選手とキャッチボールをしてプロの凄さを実感したりするなど、終始和やかな雰囲気で行われた。

##### ②講演会

自身の体験を踏まえた「夢・出会い・感謝」をテーマとした講演会を実施し、夢をもって前に進み続けることの大切さについて講演を行った。

#### 【実施場所】

- ①御蔵島小中学校校庭
- ②御蔵島小中学校体育館

#### 【参加人数】

延べ 100 名（村民の 1 / 3 相当）



## 青ヶ島村

### 青ヶ島サッカー教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 11 月 30 日

事業概要 FC 東京よりコーチ 3 名を招き、普段触れることのできないプロの動きを見たり、指導を受け、自らも動くことで、スポーツの楽しさを知る。また、子どもから大人までを参加対象とすることで、一緒にプレーを楽しみ、世代間交流を図り地域の活性化につなげた。

【実施場所】

青ヶ島小中学校校庭・体育館

【参加人数】

43 名（昼の部、夜の部合計人数）

## 丸山ウォーキング

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 11 月 24 日

事業概要 ウォーキンググループ4つと車輜での高齢者周遊グループの計5つのグループに分かれ、ウォーキング及び周遊を行った。また、ウォーキングと共に空き缶拾いを実施し、池の沢地区の様々な道を通る動機づけを行い、地域の活性化につなげた。

【実施場所】

丸山（池の沢グラウンドから周遊）

【参加人数】

24 名



### 体と心ほぐし&ヨガ教室

事業種別 スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

実施期間 平成 25 年 10 月 30 日～平成 26 年 2 月 27 日

事業概要 村民を対象に、理学療法士による体ほぐし教室及び高齢者向けのストレッチ教室も開催した。また、ヨガ教室では、シルバーヨガ教室に保育園児も参加し、世代を超えた交流の場となり、地域の活性化が図れた。

【実施場所】

青ヶ島村武道場

【参加人数】

58 名







# 資料編

---



## 資料 1 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱

### 多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱

(総則)

第1条 この要綱は、東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）が多摩・島しょ地域の市町村（以下「市町村」という。）に対して、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金（以下「助成金」という。）を交付することに関して、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 助成金は、市町村が実施するスポーツの振興に資する事業（以下「スポーツ振興事業」という。）を支援することにより、多摩・島しょ地域の子どもの体力・運動能力の向上や住民の健康の増進及びスポーツ人口の拡大を図り、ひいては多摩・島しょ地域のまちの活性化及び魅力を高めることを目的とする。

(事務の委任)

第3条 町村会は、本要綱に係る事務の執行については、市長会に委任する。

(助成対象者)

第4条 助成対象者は、市町村とする。

2 助成金の申請者は、市町村長（以下「申請者」という。）とする。

(助成期間)

第5条 本要綱における助成は、平成25年度から平成26年度までの間とする。

(助成対象事業)

第6条 助成対象事業は、次の各号の一に該当し、前条に規定する助成期間内において新たに実施する事業のうち、市長会会長（以下「会長」という。）が必要と認める事業とする。

(1) 継続的に実施することにより子どもの体力・運動能力向上に資する事業

(2) 子どもの競技力の向上に資する事業

(3) スポーツを通じた地域活性化等に資する事業

2 公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）の多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付要綱（平成24年4月1日施行）に基づき、平成24年度に助成金の交付を受けた事業については、前項の規定において助成期間内において新たに実施する事業とみなす。

(助成対象経費及び助成金の額)

第7条 助成対象経費は、助成対象事業に要する経費（施設整備等に係る経費、備品購入費（前条第1号に規定する事業において、子どもの体力・運動能力向上のために会長が必要と認めた器具の購入費は除く。）及び市町村の職員人件費を除く。以下同じ。）から、当該事業の実施に伴う収入額を控除して得た経費とする。

2 助成金の額は、助成対象経費の10分の10とし、その上限は、一市町村につき年間200万円とする。

(交付申請)

第8条 助成金の交付を受けようとする申請者は、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付申請書(様式1)に多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書総括表(様式2)、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書(様式3)及びその他会長が必要と認める書類を添付し、毎年度、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

(交付決定及び通知)

第9条 会長は、前条の規定による交付申請があったときは、別に定める市町村共同事業助成金審査会の審査に付したうえで、助成金交付の可否を決定する。

2 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに申請者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金交付・不交付決定通知書(様式4)により通知する。

(助成事業の遂行)

第10条 前条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、第8条の規定により提出した事業計画(以下「事業計画」という。)に従い、事業を適正に遂行しなければならない。なお、事業計画の主要部分についての変更は、認めないものとする。

(助成事業の変更)

第11条 第9条第2項の規定により交付の決定を受けた申請者は、通知された助成金交付決定総額の範囲内で主要部分以外の事業内容に変更(各事業において交付決定額の30%以内の額の変更を除く)の必要が生じたときは、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金変更交付申請書(様式5)に多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業変更計画書総括表(様式6)、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業計画書(様式3)及びその他会長が必要と認める書類を添付し、会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定による変更交付申請があったときは、その内容を審査し、変更交付の可否を決定する。

3 会長は、前項の規定による決定をしたときは、速やかに変更交付申請者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金変更交付・不交付決定通知書(様式7)により通知する。

4 前項の規定により変更交付の決定を受けた申請者は、第1項の規定により提出した変更後の事業計画に従い、事業を適正に遂行しなければならない。

(申請の取下げ)

第12条 第9条第2項の規定による交付決定又は前条第3項の規定による変更交付決定を受けた申請者(以下「被交付決定者」という。)は、助成金の申請を取り下げるときは、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金取下申請書(様式8)を会長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 会長は、前項の規定による申請を受理したときは、速やかに被交付決定者に対し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金取下承認通知書(様式9)により通知する。

(軽微な変更の届出)

第13条 第11条第1項の規定にかかわらず、被交付決定者は、事業名称の一部修正など、軽微な変更の必要が生じたときは、速やかに書面により会長に届け出なければならない。

(実績報告)

第14条 被交付決定者は、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金実績報告書(様式10)に多摩・

島しょスポーツ振興事業助成金事業実績調書総括表（様式11）、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金事業実績調書（様式12）、領収書等助成対象経費の支出を証明する書類の写し及びその他会長が必要と認める書類を添付し、別に定める日までに会長に提出しなければならない。

（助成金の額の確定）

第15条 会長は、前条の規定による報告を受けたときは、その内容の審査を行い、助成金の額を確定し、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金確定通知書（様式13）により被交付決定者に通知する。

（助成金の請求及び交付）

第16条 被交付決定者は、前条の規定により助成金の額が確定した後に、多摩・島しょスポーツ振興事業助成金請求書（様式14）（以下「請求書」という。）を別に定める日までに会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の規定により請求書が提出されたときは、速やかに助成金を交付する。

（助成金の管理執行）

第17条 助成金の交付を受けた被交付決定者は、当該市町村の事務に準じて、適正に助成金を管理執行しなければならない。

（交付決定の取り消し）

第18条 会長は、被交付決定者が次の各号の一に該当した場合は、助成金の交付決定の全部又は一部を取り消すことができる。

（1）虚偽その他不正な手段により助成金の交付決定を受けたとき

（2）事業の実施に際して、法令に違反したとき

（3）本要綱又は交付決定に付した条件に違反したとき

2 前項の規定は、交付すべき助成金の額の確定があった後においても適用する。

3 助成金の交付を受けた被交付決定者は、助成金の交付決定が取り消された場合は、当該取り消しに係る部分の助成金を速やかに会長に返還しなければならない。

（事務の所管）

第19条 この要綱に基づく事務は、市長会事務局企画政策室が所管する。

（事業への協力）

第20条 町村会及び調査会は、市長会から事務の執行に際し、協力の依頼が有った場合は、協力するものとする。

（補則）

第21条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付について必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行し、平成27年3月31日限りにその効力を失う。但し、第18条の規定は、失効後においてもその効力を有する。

## 資料 2 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

### 市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱

(設置)

第1条 東京都市長会（以下「市長会」という。）及び東京都町村会（以下「町村会」という。）は、市長会及び町村会が多摩・島しょ地域の魅力を高めるために実施する助成金の交付にあたり、その適否を審査させるため、市町村共同事業助成金審査会（以下「審査会」という。）を設置する。

(事務の委任)

第2条 町村会は、本要綱に係る事務の執行について、市長会に委任する。

(所掌事務)

第3条 審査会は、市長会会長の求めに応じて対象事業の内容を審査し、助成金申請者に対し必要に応じて事業実施に係る助言を行うとともに、市長会会長に助成金交付の適否について報告する。

(組織)

第4条 審査会は、市長会会長を除く次に掲げる6名の委員をもって組織する。

- (1) 市長会の代表2名
- (2) 町村会の代表1名
- (3) 学識経験者1名
- (4) 市長会事務局長
- (5) 町村会事務局長

2 委員は、市長会会長が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱の日から2年とし、再任を妨げない。

4 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(審査会の会長等)

第5条 審査会に、会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選による。

3 副会長は、会長が指名する。

4 会長は審査会を代表し、会務を総括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会長は、必要に応じて審査会を招集する。

2 審査会は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 審査会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、適否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、審査会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(委員報酬等)

第7条 第4条第1項第3号に規定する委員については、東京都市長会附属協議会に対する補助金

交付要綱（平成11年4月1日施行）第3条第3号の基準に準じて報酬等を支給する。

（庶務）

第8条 審査会の庶務は、市長会事務局企画政策室において処理する。

（事業への協力）

第9条 町村会及び公益財団法人東京市町村自治調査会（以下「調査会」という。）は、市長会から事務の執行に際し協力の依頼があった場合は、協力するものとする。

（補則）

第10条 この要綱に定めるもののほか、審査会に関し必要な事項は、市長会会長が別に定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際に、調査会の市町村共同事業助成金審査会設置及び運営要綱（平成22年4月1日施行）第3条第2項の規定により、委員に委嘱されている者については、第4条第2項の規定に係らず、委員に委嘱したものとみなす。この場合の委員の任期は、第4条第3項の規定に係らず、平成26年4月30日までとする。



資料3 市町村共同事業助成金審査会 委員名簿

平成 25 年度市町村共同事業助成金審査会 委員名簿			
(敬称略)			
選出区分	氏 名	所属・役職	任 期
東京都市長会 (要綱第 4 条第 1 項第 1 号)	ほしの のぶお 星野 信夫	国分寺市長	平成 24 年 5 月 1 日～ 平成 25 年 7 月 12 日
	いなば たかひこ 稲葉 孝彦	小金井市長	平成 25 年 8 月 26 日～ 平成 26 年 4 月 30 日
	いしざか じょういち 石坂 丈一	町田市長	平成 24 年 5 月 1 日～ 平成 26 年 4 月 30 日
東京都町村会 (同項第 2 号)	さかもと よしじ 坂本 義次	檜原村長	
学識経験者 (同項第 3 号)	すみたに あきお 炭谷 晃男	大妻女子大学 社会情報学部教授	
東京都市長会事務局長 (同項第 4 号)	いしい つねとし 石井 恒利	東京都市長会 事務局長	
東京都町村会事務局長 (同項第 5 号)	なぐら ひとし 名倉 衡	東京都町村会 事務局長	

平成 25 年度 多摩・島しょスポーツ振興事業助成事業実施報告書

平成 26 年 3 月

編集、発行 東京都市長会事務局 企画政策室

〒183-0052

東京都府中市新町 2-77-1 東京自治会館内



